

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

人工呼吸器関連イベント（VAE）：抗菌薬、微生物結果と死亡転帰についての後ろ向き研究

研究期間：2025 年 8 月～2025 年 12 月

対象材料：

☐ 病理材料（対象臓器名： ）

☐ 生検材料（対象臓器名 ）

☐ 血液材料

☐ 遊離細胞

■ その他（ 電子カルテ記事 ）

上記材料の採取期間：2013 年 1 月 ～ 2024 年 12 月

意義：

20 年ほど前、米国疾病予防センター（CDC）に準拠した JANIS（日本院内感染サーベイランス）における人工呼吸器関連肺炎（VAP）部門に参加していたが、日本環境感染学会（当院は教育認定施設）等で胸部 X 線撮影による評価が主観的で多施設比較が困難という批判が生じていた。その問題を改善するため、CDC は課題 VAE の概念を定義した。

そこで過去に遡り VAE の調査を開始し、本委員会に承認を受け、自動化プログラムを作成した。内容は医学中央雑誌に掲載の雑誌に本年 11 月掲載予定である。そのプログラムにより、当院 12 年間のデータについて容易に統計がとれる態勢としたので、次の目的で研究を行う。

目的：

文献では VAE が VAP に次ぐ新定義であるので、VAE の 3 階層について肺炎の実態を示すかどうかの検討がなされている最中である。また対象期間には COVID-19（SARS-CoV-2 感染症）勃発前後の貴重なデータがある。そこで VAE に対する抗菌薬、微生物結果および死亡などのリスク評価を目的とする。

方法：

①半自動化プログラム：当院の電子カルテ HX（富士通社）による全文検索ツール DataWareHouse（DWH）から抽出したデータを、関数プログラムを開発した Excel（Microsoft 社）に投入すると VAE の候補データが抽出され、医師が VAE の 3 階層を判定する。

②退院時転帰について調査し、死亡のアウトカムを主要評価項目とし、副次的評価項目として投与された抗菌薬、微生物結果（SARS-CoV-2、耐性菌）と入院の主診断とし、VAE の 3 階層に対するリスクを探索。

個人情報の取り扱い：

匿名化し、特定されない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

〒750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 呼吸器外科 副院長 吉田 順一

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838